

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2026年1月26日発行 【再刊第43号】

今号の話題

- 氷濤まつり、今週開幕
寒気が生んだ氷像群お目見え
- 関東で道産品の魅力発信
日本橋三越本店北海道物産展
- 干支ダイバーが登場
サケのふるさと千歳水族館

支笏湖畔に氷の造形美 氷濤まつり、31日開幕 「納得のいく氷像になった」 年が明けて寒気が到来、 スタッフ太鼓判の美しさ



氷像が今年も支笏湖畔で支笏湖ブルーの輝きを見せてくれます

「千歳・支笏湖水濤まつり」氷の美術館 支笏湖ブルーの世界」が1月31日に開幕します。制作はすでに大詰めを迎えていて、支笏湖の湖水を散布する作業も一通り終わり、会場には約30基の氷像が登場しました。中には初めて制作に挑戦した意欲作もあり、関係者は多くの人に見てもらいたい意気込んでいます。

観光連盟が事務局を支援する国立公園支笏湖運営協議会の主催。会期は2月23日まで。昼間は独特の青さが特徴的な支笏湖ブルーの氷が見る人を魅了し、夜間はカラフルにライトアップされた幻想的な氷の世界へと変わります。道内屈指の冬のイベントの一つに位置付けられ、前回は13万1072人が来場しました。

にそびえる様子は圧巻です。大氷壁「アイスウォール」は全長約40メートル、高さ9メートルと迫力満点です。

制作担当者はマンネリ化しないよう、新たな氷像を企画し続けています。「氷の細道」は両側に高さ5メートルの氷の壁を設け、幅1メートルの通路を進むものです。国内屈指の良好な水質の湖水が生み出す支笏湖ブルーを体感でき、青さに包み込まれているような感覚になります。「苔の洞門」は松の枝を生かして緑色の空間を演出し、入口のシラカバの枝に人気のシマエナガのぬいぐるみを配置します。

焚火でマシュマロを焼いて味わうスポットはシラカバの枝で空間を演出し、森の中にいるような雰囲気を出します。アイスキッチンでは面積を広げ、多くの来場者に温かい飲み物を提供します。

制作は11月下旬から始まり、ス



散水作業も一部の氷像だけとなりました

タツフ15人が日夜、力を注ぎました。丸太や鉄パイプ、支笏湖地域の森の不要な樹木から得た枝などで骨組みを組み立て、漁網や農業用ネットを掛けて、ポンプでくみ上げた湖水をノズルで吹き付ける作業を進めました。資材費の高騰の中で、環境配慮も意識して再利用できるものをするなど、工夫と配慮も欠かしません。

今年は真冬日が多く、日中も散水作業を行うことができたため、氷像を大きく頑強に造ることができました。観光連盟副会長で、会

場制作を統括する小林典幸会場制作管理部長は「細部に至るまで最高の出来です。寒さがばっちり来たので、納得のいく氷像になりました」と太鼓判を押しています。入場料は中学生以上1000円、小学生以下無料です。開催時間は午前10時から午後8時。ライトアップは午後4時半からです。期間中はガイドツアーや、団体客向けに制作スタッフによる観覧ツアーも行われる予定です。

日本橋三越本店北海道物産展

道産米、乳製品人気

千歳観光の周知にも力

東京・日本橋三越本店で1月に開催された北海道展に観光連盟が出展しました。道産米、千歳市内のミルク・ベルが手掛けた乳製品を出品し、好評を得ました。

テーマは「PLAY HOKK A I D O !」冬にまつわるエトセ



道産品をアピールした千歳観光連盟のブース

トラ」。7、12日のPART1、14、19日のPART2の2会期に分けて開かれ、道内各地の観光、飲食関係者が出店したブースには、海の幸や農産物、グルメ、北海道らしいぬくもりのあるクラフトアイテムが並びました。観光連盟はPART1に出展しました。今回の出展は北海道観光機構との連携事業により実施したもので、会期中は北海道の観光PRキャラクター「キュンちゃん」が登場し、愛嬌を振りまきながら記念撮影に応じていました。



キュンちゃんが登場すると周囲には人だかり

観光連盟として、千歳の観光や千歳・支笏湖・氷瀑まつりをPRするため、まつりや市内観光地を紹介したパンフレットやチラシを配布。関東圏で千歳の魅力を発信しました。今後も首都圏での物産展参加を通して、千歳と周辺地域、そして本道の特産品を伝えていきます。豊かな食の魅力を通して、観光客の誘客につなげていこうと、今後も本州方面のデパート、百貨店等での北海道物産展に参加する方針です。

サケのふるさと千歳水族館

千支ダイバー、

今年も登場

馬のかぶり物でダイブ

サケのふるさと千歳水族館で1月2日、2026年の千支である「午（うま）」年にちなんだ「千支ダイバーと記念撮影」が開催されました。支笏湖水槽内に馬に扮装したダイバーが登場して、訪れた家族連れを盛り上げました。



水槽内に登場した千支ダイバー

毎年の千支にちなんだ恒例の企画です。子供たちの呼び声とともに水槽内に馬のかぶり物を身につけたダイバーが登場。ヒメマスへのえさやりや、口に含んだ空気を輪のようなバブルリングとして出して見せるパフォーマンスも披露しました。

水槽前には多くの来場者で列ができ、ダイバーと一緒に記念写真を撮影して、新春の思い出を残していました。

このほか、「水中観察ゾーンで「行く年」を振り返り、「来る年」に思いをはせる「行く年来る年」水槽を展示。「行く年」水槽では2025年の千支「巳（へび）」に似た魚「スネークヘッド」の展示と開催イベントをふり返り、「来る年」水槽では、26年の千支「午（うま）」に似た魚「ホースフエイスローチ」を展示し、今年の年間行事を紹介しました。

銀世界の魅力

アクティビティで

存分に体感

ノーススノーランドin千歳



チューブで坂を滑り降りる「チューブスライダー」を満喫

雪遊びで北海道の冬を満喫する「ノーススノーランドin千歳」が、ザ・ノースカントリーゴルフクラブ内で開催されています。国内外の行楽客が、雪のアトラクションを大いに楽しんでいます。雪を通じたアクティビティを楽しむ恒例の企画で、千歳・支笏湖水濤まつりとも連携した催しです。

高さ4メートルの坂からチューブで滑り降りる「チューブスライダー」に、子どもたちは大はしゃぎ。ミニスノーモービルや四輪バギーではパワフルなスピードで会場内を疾走して迫力を味わいました。またスノーラフティングではスノーモービルにけん引されたボートが縦横無尽に雪原を滑り、一度止まっただけに動きだしたり、カーブを切ったりといった動きでスリルを生んでいます。

雪体験コーナーでは、雪のない地域から来たとされる外国人観光客が雪玉を作って家族で投げ合ったり、慣れないながらも歩くスキーを楽しむ姿が様子がありません。

入場料は中学生以上の大人800円、子ども500円、5歳以下無料。これに加えてアトラクションはオプション料金がかかります。チューブスライダーと雪体験コーナーを遊び放題です。

千歳JAL国際マラソン

今年の中止を決定

クマ出沒を懸念

千歳市スポーツ協会、日本航空などの主催、観光連盟等の後援で2026年6月7日に開催を予定していた「第46回千歳JAL国際マラソン大会」は、1月8日開催の実行委員会で中止を決定しました。

昨年、千歳市内ではクマの出沒状況が相次ぎました。今期のクマ対策の確認期間が一定程度必要であるとして、中止を決断しました。主催者側は「リスクをゼロにすることはできませんが、今後、専門家や関係者などからのご意見を伺いながら、各種の対策を検討し、早期の大会再開に向け調整を行ってまいります」と参加を予定していたランナーらに理解を求めています。

イベント情報

▼ノースノーランド in 千歳
(2026年12月30日から開催中。
ザ・ノースカントリーゴルフクラブ内) 北海道らしい雪のアクティビティを楽しめます。入場料は中学生以上の大人800円、子ども500円、5歳以下無料。チューブスライダーと雪体験コーナーを遊び放題です。オプション料金の必要なアクティビティは、ミニスノーモービル、四輪バギー、スノーラフティングなど。千歳・支笏湖氷濤まつりとの連携イベントです。

▼第60回とまこまいスケートまつり(2026年2月7日～8日、
苫小牧市若草2丁目・中央公園)
スケートのまち・苫小牧を代表するイベントです。真冬の寒さにドラム缶を加工した大型ころんに炭火をセットしてジンギスカンを

焼く名物「しばれ焼き」を味わえます。出店やステージイベント、雪の巨大滑り台など家族で楽しめるお祭りです。寒空のもと豪快に焼いて味わう肉の美味しさは格別です。

▼ちとせホルメンコーレンマーチ(2026年2月11日、青葉公園など)千歳市スポーツ協会主催、同実行委、千歳スキー連盟主管。観光連盟後援。千歳クロスカントリー、歩くスキーの集い、千歳雪合戦、小学生雪上5色綱引きを実施します。千歳クロスカントリーでは7キロ種目が復活し、男女総合1～3位を表彰します。

▼2026さつぽろ雪まつり
(2月4～11日、札幌市内のお大通公園など) 巨大雪像や大小の雪像が並び観光客を楽しませます、飲食ブースも出展。開催期間が重複する氷濤まつりと併せてお楽しみください。

編集後記

江戸時代後期、現在の新潟県魚沼市の商人・鈴木牧之は越後魚沼の雪国の生活を描いた書籍『北越雪譜』(ほくえつせつぷ)を著しました。北国の冬の生活の様子と厳しさを記した内容は、江戸や京の文化人が雪に趣を感じる風潮に異を唱えています。

1月25日、千歳をはじめ道央圏は豪雪に見舞われました。交通機関は混乱。市民は朝から雪かきに追われました。雪が舞うロマンとは対極的な、厳しい冬の1日でした。

雪が止み外に出ると、狭い道の譲り合い、自宅だけでなく近所の高齢者宅を除雪する住民の姿。人の温かさが余計にきわ立ち、雪かきの疲れがほぐれる気がしました。(ひ)